

みしま 市議会だより

No.193

2021 8.1

今回の
定例会

11月

2月

6月

9月

主に6月定例会の
情報をお伝えします。



三島の昔の風景
詳細は13ページをご覧ください

CONTENTS

新しい体制が決まりました	2
議案審議の概要	4
市政に対する一般質問	7
議会報告会・9月定例会のお知らせほか	16

委員会とはどんな活動をしているの？

<委員会>

市の行政は広範多岐にわたっており、内容も専門化しているため、能率的かつ専門的に審査するために委員会を設置しています。三島市議会には、3つの常任委員会があり、議員は必ずどれか1つの常任委員会に所属しています。そのほかに、議会を円滑に運営するための議会運営委員会、特に集中して審査する場合などに臨時的に設置される特別委員会があります。



委員会の活動はいつ行われるの？

定例会の期間中に予算や決算などの議案の審査を行うほか、定例会が閉会している間も、担当する分野のさまざまな調査研究を行っています。ほかの都市の先進的な取り組みを視察することもあります。



委員会付託とは？

本会議の議決に先立ち、議案の審議や調査をより詳しく効率的に行うため、所管する委員会に調査や審査をゆだねることをいいます。



5月臨時会

三島市議会の新しい体制が決まりました

5月17日の臨時会において、大房正治議長、堀江和雄副議長が辞職したことに伴い、正副議長選挙が行われ、川原章寛議員が第70代議長に、中村仁議員が第75代副議長に就任しました。
また、常任委員会委員の選任と議会運営委員会委員の選任も行われ、これにより新しい三島市議会の体制が決まりました。



第75代副議長
中村 仁



第70代議長
川原 章寛

議会運営委員会

円滑で効率的な議会運営をするために設けられています。

議会運営委員会では、議会の会期および日程、特別委員会の設置、議案および請願・陳情の取り扱い、議会関係規則の取り扱いなどについて協議します。

委員長 堀江 和雄
副委員長 野村 諒子
委員 大房 正治

岡田美喜子
藤江 康儀
大石 太郎
服部 正平

総務委員会

行政の総合的な企画・管理・広報や、財政・税務などの事務について審査します。

①トレッキング
②道をひらく
(松下幸之助)



委員長
村田 耕一 (公明)

①ご飯を鍋で炊くこと
②絵本「おまえるまそうだな」
(宮西達也)



副委員長
佐野 淳祥 (緑水会)

経済建設委員会

農政・商工・観光・文化や土木・建設・都市計画・上下水道などの事務について審査します。

①週一回の雑炊健康ダイエット
②子どもの未来を広げた学校
(陰山英男)



委員長
甲斐 幸博 (緑水会)

福祉教育委員会

福祉や子育て、学校・幼稚園から生涯学習・スポーツなどの教育に関する事務について審査します。

①梅しごと(梅酒・シロップ・ジャム・サワー作り)
②日本婦道記
(山本周五郎)



鈴木 文子 (公明)

①おこわなど蒸し料理を作ること
②働く台所(エクスマレッジ刊)



副委員長
沈 久美 (政和会)

①ビートルズの曲を聴く
②マスカレード・ナイト
(東野圭吾)



堀江 和雄 (公明)

①息子の試合観戦(テニス)
②沈黙のパレード
(東野圭吾)



副委員長
宮下 知朗 (新未来 21)

①ゴルフ 運動不足解消と仲間づくり
②坂の上の雲
(司馬遼太郎)



大房 正治 (緑水会)

①自宅温泉 函南町営温泉スタンドに日参
②戦中派不戦日記
(山田風太郎)



中村 仁 (緑水会)

①自家製青汁スムージー
②いのちの停車場
(南杏子)



服部 正平 (日本共産党議員団)

①暮らしを整える断捨離
②夏休み1か月の会社が作るまち



野村 諒子 (緑水会)

①犬猫とのひととき
②在宅医療読本



土屋 利絵 (改革みしま)

①コンビニスイーツ
②枝野ビジョン



佐藤 寛文 (無会派)

①直売所の箱根西麓三島野菜
②大家さんと僕
(矢部太郎)



岡田 美喜子 (新未来 21)

①ウサギのお世話
②オードリー・タンデジタルとAIの未来を語る



石井 真人 (改革みしま)

①おうちはん料理勉強中！
②ヴァイオレット・エヴァーガーデン



川原 章寛 (新未来 21)

①バイクツーリング
②日経グローバル



松田 吉嗣 (緑水会)

①中世山城研究 歴史探訪
②芭蕉最後の一句
(魚住孝至)



杉澤 正人 (無会派)

①ステイホームのびんビール
②52ヘルツのクジラたち
(町田そのこ)



藤江 康儀 (改革みしま)

常任委員会の委員を紹介します
各常任委員会に所属する議員の紹介と併せて、各議員に対し一言アンケートを実施しました。
【掲載項目】①マイブーム ②お気に入りの1冊



令和3年 6月定例会

6月8日～6月23日
会期：16日間

■今回の議案は…

市長提出議案14件

この号では次の項目を
Pick up!

Pick up 1
議第42号
三島市税賦課徴収条例等の一部を
改正する条例（全会一致）

Pick up 2
議第39号
【令和3年度三島市一般会計補正
予算（第2号）】（全会一致）
■補正予算額
1億5,792万3,000円

Pick up 3
議第41号
物品購入契約の締結について
（消防ポンプ自動車）（全会一致）

すべての議案と結果などの
詳細は、三島市議会ホーム
ページをご覧ください。

Pick up 1
条例の一部改正

税の控除等を見直し

○三島市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

令和3年度の税制改正の内容を盛り込んだ地方税法等の一部を改正する法律が令和3年4月1日から施行されたことに伴い、条例改正を行います。

【主な内容】

(1)個人の市民税の均等割および所得割の非課税限度額の算定に係る扶養親族の範囲を見直し、年齢16歳未満の者および控除対象扶養親族に限ることとする。
(令和6年1月1日から施行)

(2)特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例について、適用期限を令和9年度まで5年延長する。
(令和4年1月1日から施行)

(3)令和4年度分および令和5年度分の固定資産税について、市の区域内の自然のおよび社会的条件からみて類似の利用価値を有すると認められる地域において地価が下落し、市長が固定資産税の課税上著しく不均衡と認める場合には、当該土地の修正価格を課税標準とすることとする。
(公布の日から施行)

(4)住宅ローン控除について、新型コロナウイルス感染症等の影響を踏まえ、これまで適用の特例の対象となっていた令和3年末までに対象住宅を居住の用に供したものに加え、令和4年中に対象住宅を居住の用に供した者もその対象とする。
(公布の日から施行)

主な質疑

質疑 三島市税に係る税制改正の具体的な内容は

答弁 固定資産税の税額の算定基準となる土地の評価額は、地方税法の規定により、基準年度の評価額を3年間据え置くこととされている。

令和3年度は基準年度に該当するが、本来据え置きとなる令和4年度および5年度における土地の

までに入居すれば特例の住宅ローン控除の対象としていたが、税制改正により令和4年末までの入居者も対象となったため、市県民税においても令和4年末までの入居者に住宅ローン控除を適用するものとなっている。

Pick up 2
一般会計予算を増額補正

生活に寄り添ったサポートを

ひとり親世帯以外の低所得子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円を給付するための経費を増額します。

また、参議院議員補欠選挙に係る人件費および事務費を増額するほか、民間保育所や病児保育等を行う事業実施者、放課後児童クラブや放課後児童健全育成事業を行う事業実施者に対し、新型コロナウイルス対策への支援に係る経費を増額します。

二酸化炭素排出抑制対策事業において、地球温暖化対策に向けたクールチョイスを実施するための経費を増額します。

【歳出の主な内容】

●参議院議員補欠選挙執行事業	1,689万4,000円
●子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	8,982万円
●地域子育て支援拠点外環境改善等事業費補助金	390万円
●保育環境改善等事業費補助金	950万円
●放課後児童クラブ管理運営事業	360万円

Pick up 3
物品の購入

安心・安全を守るために

消防団第5分団（佐野）に配備している消防ポンプ自動車は、平成11年11月に購入してから21年が経過し、老朽化が著しいことから、消火力の向上を図り、火災および各種災害から市民の尊い生命と財産を守るため、更新しようとするものです。

主な質疑

質疑 予定価格の増額の理由は

答弁 国土交通省が定める道路運送車両の保安基準において、令和3年11月から車両重量3・5トンを超え、8トン以下である継続生産車両への衝突被害軽減ブレーキの装備が義務化され、シャシと呼ばれるベース車両がモデルチェンジされることに伴い、価格が増額となったほか、物価の上昇により積載品および艀装品が増額となったことによる。

質疑

車両および艀装の特徴は

答弁 佐野地区では急勾配の坂道が多く、車両の登坂性能を担保するため、シャシの仕様において総排気量を4000cc以上とし、または最高出力および最大トルクを一定以上のものとするほか、ポンプ等の故障や不具合の早期発見、対応等ができるよう、故障時の遠隔診断が行える機能を備えることとしている。



令和3年 5月臨時会 5月17日

（承第5号）
【令和3年度三島市一般会計補正予算（第1号）】
（全会一致）
■補正予算額
4億2,958万円

臨時会では、2ページでお知らせした正副議長選挙、常任委員会委員の選任のほか、児童扶養手当受給世帯等を対象とした給付金を支給するために必要な経費や、新型コロナウイルスワクチンの接種事業に係る経費の増額補正予算についての専決処分を承認しました。

Pick up 4
陳情第1号

陳情の審査

2月定例会で提出された『政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類の表示に関する規程』の変更に関する陳情は総務委員会に付託され、3月25日に審査を行い、賛成者なしで不採択すべきものとなりました。また、5月臨時会で行った採決でも、不採択となりました。

ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは...

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。

18人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

市民アンケートでは、現庁舎に関して感じている課題を認識するとともに、庁舎の今後のあり方に関する考えを把握した。その結果、多くの市民は、公共交通機関などの利便性に優れ、防災上安全な場所においての新築による統合化を望んでいると分析している。

新市庁舎建設への行程について
Q 令和元年11月に行われた新市庁舎整備に関する市民アンケートの結果につき、当局の分析判断を伺う。



A 市民アンケートでは、現庁舎に関して感じている課題を認識するとともに、庁舎の今後のあり方に関する考えを把握した。その結果、多くの市民は、公共交通機関などの利便性に優れ、防災上安全な場所においての新築による統合化を望んでいると分析している。

地球温暖化防止へ向けた緑化推進の取り組み
Q 緑のカーテン普及推進事業として、種子の配布・コンテスト開催などが行われているが、これら活動の近年の状況はどうか伺う。



杉澤 正人
(無党派)



A 種子の配布状況は、5年平均で3530件であり、その種類は主にゴーヤを中心に、今年度は種類を増やし配布先の拡大にも努めている。コンテストについては応募件数が減少しており、令和元年度からはインスタグラムを活用したキャンペーンをあわせて実施している。

ケアラ・ヤングケアラの権利擁護と支援に向け、全戸調査を行い、地域の福祉環境の整備と法制化を急ぐべきではないか。

ケアラ・ヤングケアラの存在と社会認識
Q ケアラ・ヤングケアラの権利擁護と支援に向け、全戸調査を行い、地域の福祉環境の整備と法制化を急ぐべきではないか。



A ケアラ・ヤングケアラの支援のため、まずは社会的認知度の向上を図る。また、効果的な支援体制構築のため、国の調査等を参考に実態調査の時期や方法等に関係部局と連携し検討する。権利擁護と支援に関する条例化については研究していく。

地域公共交通の現状と将来ネットワーク形成
Q 移動手段としてバス路線が再認識される中、厳しい経営の岐路に立たされたバス事業者の運行継続に向けた課題と市の対応方針は。



大石 一太郎
(政和会)



A 市内バス路線は、コロナ禍の影響により収入が減少し、バス事業者単独での維持が困難になっている。公共交通維持のため、バス事業者を支援するとともに、地域住民や関係する事業者等と合意のもと、路線やダイヤの見直し等を検討し市民生活の足の確保に努める。

5月臨時会 議決結果

議案番号	件名	結果
陳情第1号	「政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類の表示に関する規程」の変更に関する陳情	不採択
承第3号	専決処分の報告及び承認について（三島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	承認
承第4号	専決処分の報告及び承認について（三島市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
承第5号	専決処分の報告及び承認について（令和3年度三島市一般会計補正予算（第1号））	承認

6月定例会 議決結果

議案番号	件名	結果
議第39号	令和3年度三島市一般会計補正予算（第2号）	可決
議第40号	令和3年度三島市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議第41号	物品購入契約の締結について（消防ポンプ自動車）	可決
議第42号	三島市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	可決
議第43号	三島市都市計画税条例の一部を改正する条例	可決
議第44号	三島市総合福祉手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第45号	三島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第46号	令和3年度三島市一般会計補正予算（第3号）	可決

※すべての議案が全会一致となりました。

議場の見学に来てくれました♪



北小学校の6年生が、施設見学の 일환として議場を見学しにきてくれました。議席に座って市議会についての説明を聞いたり、演台や質問席に立って写真を撮り合ったり、普段なかなか入ることのできない議場に、子どもたちは興味津々な様子でした。





甲斐 幸博
(緑水会)



子どもの学びを豊かにしていく学校教育

◎ 三島市の学校教育で資質・能力を育成することが意識されてきたが、改めて三島市の教育の重点として、取り組んでいる内容を伺う。

▲ 「心の教育」を柱とし、教育活動全般を通して子どもたちの豊かな感性を育むようにしていることと、安全教育に焦点を当てた「命の教育」により「子ども自らが判断して自他の命を守ることができる」ようになることを、教育の重点として取り組んでいる。



データベースを活用した子どもの貧困対策

◎ 自治体が縦割り行政を解消して、情報を一元化し、学校、民間団体などと連携し、子どもの支援や見守りに活かすことをどう考えるか。

▲ 子どもの貧困の背景には、子どもや家庭を取り巻く様々な社会的要因がある。国が方針を打ち出した情報の一元化への取り組みは、外から気付きにくい家庭の問題等の早期発見に繋がるものと承知しており、引き続き国や県の動向を注視していく。

他の質問事項

三島市財政における公共施設保全の課題は



岡田 美喜子
(新未来21)



2050年カーボンニュートラルの取り組み

◎ 本市の脱炭素社会の実現を好機と捉え、経済と環境の好循環を図ることを目的に官民連携組織の立ち上げを検討できないか。

▲ 脱炭素社会実現のためには、市民・事業者・行政等が課題を共有し連携して対策を講じることが重要である。令和4年3月策定予定の第3次三島市環境基本計画に、2050年脱炭素社会の実現に向けた官民連携組織の立ち上げの検討について盛り込んでいく。

あかちゃんのへやの今後の取り組み

◎ 子育て世帯の外支援助として、店舗等の協力でおむつ替え等ができる場所が増えたが、三島駅周辺に不足している。対策と周知を伺う。

▲ 三島駅周辺のあかちゃんのへやは、公共施設や民間事業所等に複数設置しており、今後も三島駅東街区再開発エリアも含めて、親子連れが多く訪れる店舗等を中心に登録の呼びかけを行う。また、子育て世代に対して、SNS等を活用した情報発信を行っていく。



他の質問事項

社会人の学び直し「リカレント教育」の推進



河野 月江
(日本共産党議員団)



小中学校女子トイレに生理用品設置を

◎ 誰もが安心して学べる環境を整えるためにも、小中学校の女子トイレ個室に生理用品を設置することが必要と考えるがどうか。

▲ 児童生徒が、生理について保健室等で相談することや生理用品を受け取りに行くことに、抵抗感を抱いている可能性を考慮する必要がある。市教育委員会として、生理用品をトイレに置く必要性を認識しているため、財源や衛生面を含め、考えていく。



特別障害者手当のわかりやすい周知を求めて

◎ 障害者手帳がなくても受けられる特別障害者手当が、在宅介護を受ける該当者にも届くよう、制度の周知にどのような改善が可能か。

▲ 市ホームページや障がい者のしおりに掲載し周知を図っているが、より多くの方に周知するため、要介護認定者や高齢者に配布する高齢者サービス一覧への掲載や、三島市介護支援専門員連絡協議会における制度説明等、関係各課と連携し周知していく。

他の質問事項

無症状者向けPCR検査の対象拡大を求めて



石井 真人
(改革みしま)



64歳以下への今後のワクチン接種の方針

◎ 64歳以下へのワクチン接種について、接種対象者や市役所、企業、大学での職域接種について今後どのような方針で進めるのか。

▲ 64歳以下の接種券は6月下旬から年齢順に発送するが、基礎疾患がある方は、事前に申告していただければ先に接種券を送付する。また、職域接種は自治体接種に影響を与えないこととされており、医療従事者などの確保などから三島市役所としての実施は難しい。



身近な医療機関による個別接種の拡充を

◎ ワクチンの冷蔵保存期間の長期化により、かかりつけ医等の身近な医療機関での個別接種による接種場所の拡充はできないか。

▲ かかりつけ医などの各医院での個別接種については、三島市医師会と協議を進めている。各医院での接種が始まれば、さらに市民にとって便利になり、早期接種にもつながるので、早期の実現を目指していきたいと考えている。

他の質問事項

接種後の車と下校時の児童との交通事故対策



佐野 淳祥
(緑水会)



市内の各個店が儲かるためのスマート戦略を

◎ 再開発事業のにぎわい増幅装置は、まちなかリノベーション計画やスマートシティと連動させ「相互送客」で商業活性化できないか。

▲ にぎわい増幅装置として機能させていくための取組であるエリアマネジメントを推進していくうえで、まちなかリノベーション推進計画やスマートシティの推進との連動は大変重要であるため、十分な連携を図り、魅力向上のにぎわい創出につなげていきたい。



公共施設マネジメントでの箱根の里の将来

◎ 社会教育の貴重な野外拠点である箱根の里は、広域連携や大学ゼミ招致などによって持続可能な直営を考えるべきと思うが、どうか。

▲ 教育委員会による箱根の里の運営方針に関する諮問機関として、箱根の里運営協議会が位置づけられているので、本案を同協議会に諮り、その必要性が認められた場合には、大学のゼミ等による意見をいただくことも可能になるものと考えている。

他の質問事項

しやぎり練習会場の行政支援について



村田 耕一
(公明)



食品ロス削減のためのマッチングサービス

◎ 食品ロスを削減するため、事業者と消費者とのマッチングサービスを行う無料サイトの開設ができないか。

▲ 食品ロスを削減するためには、一般家庭に対する取り組みだけでは不十分であり、食品関連事業者に対する取り組みが必要不可欠と考えるため、両者をマッチングする取り組みについて、先進市の実施状況を調査し、費用対効果を考慮したうえで研究を行っていく。

小中学校体育館への空調設備の導入

◎ 学習環境の改善と災害時の避難所機能強化のため、国の緊急防災減災事業債を利用して、小中学校体育館に空調設備の導入が図れないか。

▲ 空調設備の導入については建替えを含め、体育館の断熱性の確保に要する経費なども考慮した検討が必要になるため、まずは令和3年度に発注する向山小と長伏小の改修実施設計業務委託の仕様、断熱性能の確保を取り入れていくことが可能か検討していく。



他の質問事項

県営光ヶ丘団地8棟跡地に高齢者福祉施設を



土屋 利絵
(改革みしま)



誰もが安心して歳を重ねていくために

◎ 自宅などで安心して人生を終えていくことを考えると、在宅医療を充実させていくことが必要となる。訪問診療の状況について伺う。

▲ 市内24医療機関が訪問診療に対応しており、令和2年4月の訪問診療利用者数は3年前と比べ78人増加し595人で、県地域医療構想の提供見込み量を上回る。サービス付き高齢者住宅等への往診増加の影響もあるが、在宅医療に熱心な医師が多いと感じている。



災害時に誰一人取り残さないような取り組み

◎ 災害時に誰が助けるのか考える個別支援計画の作成が急務となる。そのためのコーディネーターの設置について伺う。

▲ 個別支援計画の作成の推進にあたり、災害対策基本法が改正されたことに伴い、更に効果的な作成手法や、災害時に被害者を出さないための地域における具体的な避難支援体制について、専門職の活用を含めた国の支援制度などを十分研究していく。

他の質問事項
経済的に困っている方への支援金の広報



堀江 和雄
(公明)



三島駅南口東街区の2025年に向けて

◎ マンション棟などは、デジタル化を見据え、高次都市機能を担うと思うが、ミサワホームJVからどのような提案があるのか。

▲ 新型コロナウイルス感染症やICT技術の進展などの社会情勢の変化を踏まえ、在宅勤務に対応した住宅や、シェアオフィスなどの導入の可能性が検討されている。導入に伴うコストも勘案しつつ検討を進め、令和3年の秋頃には、事業の検討状況についてご報告したい。

電子市役所の利便性向上とこれから

◎ 市民の利便性向上・来庁不要などを目指し、マイナンバーカードを活用した手続を増やすなど、今後の電子申請拡充について伺う。

▲ 国の自治体DX推進計画に基づき、特に国民の利便性の向上に資する子育てや介護などに関する31手続をマイナンバーカードからマイナンバーカードを用いてオンライン手続ができるようにするなど、さらなる電子申請手続数の拡大を図っていく。



他の質問事項

小中学校のいわゆる置き勉の現状について



服部 正平
(日本共産党議員団)



ごみ最終処分場第一埋立地の安全性について

◎ 市道祇園原線沿線における赤褐色の溢水と第一埋立地の関連について、住民が長年不安を抱いている。公的機関での調査は可能か。

▲ 実施した水質検査は、第一から第三までの全ての埋立地から発生した浸出水の検査である。地元住民の皆様に対し、関係性についての疑問を解消したいと考えるため、地元自治会の意向を確認し、必要に応じて公的機関での調査を実施する。



公契約条例制定に向けた進捗状況について

◎ 平成29年11月議会答弁で、「公契約条例」は意義深く重要であり、県の動向に注視し、調査研究を行うとされたが、その進捗状況は。

▲ 調査研究の結果、公契約条例には大きく3種類あることがわかった。また、県東部都市入札・契約担当情報交換会に積極的に参加し、各市の考案方や課題の研究も行った。令和3年の県の条例化を踏まえ、県内市町の動向を注視し、歩調を合わせる必要があると考える。

他の質問事項
オリ・パラ開催時の感染症対策について



沈 久美
(政和会)



ふれあいさわやか回収事業の拡充を目指して

◎ ごみ出しは高齢者や障がい者その他、心の病を抱える方や子育て世代にも困難である。当事業の見直しを図り、対象を拡充できないか。

▲ 現状、介護サービス利用者や障がいがある方以外に、ごみ出しが困難な方の存在を把握していないため、関係部署と連携し、民生委員の皆様などのご協力をいただく中で、ごみ出しが困難な方の把握や支援の可能性等を調査研究していく。



令和流「文武両道」への理解と実践を求めて

◎ 継続的な運動経験は、体力・気力・社会性の獲得等豊かな人生の下支えとなる。中学校運動部入部状況と入部促進の取り組みを伺う。

▲ 市内中学校の今年度の運動部入部状況は71.6%である。生徒が自分に合った部活動に取り組むことができるよう、様々な部活動を見学できるようにしたり、体験活動を多く取り入れたりするなど、やりがいや楽しさが伝わるように工夫している事例がある。

他の質問事項

南二日町グラウンドへのラグビーゴール設置



野村 諒子
(緑水会)



三島市子どもの権利条例制定への取り組み

◎ 子どもの権利を保障し、子ども達も心も体も健やかに成長することができるように、三島市子どもの権利条例を制定できないか。

▲ 子どもの権利条例の制定は、子どもの権利に関する条約で保障されている4つの権利について、子どもを含めた多くの立場の方からの幅広い意見集約が必要であることから、実現のための気運の醸成といった流れや時期等を慎重に見定めながら研究する。

自宅等での避難防災について

◎ 大規模災害時には、多くの市民が自宅等で避難することを想定し、インフラが停止した中での在宅避難を重視した防災訓練は可能か。

▲ 水道、下水道が機能不全となった状況を想定し、自主防災組織リーダー研修会で携帯トイレの使用方法について実技訓練を行っている。災害時のトイレ対策をテーマとした出前講座を行うとともに、使用方法を三島市公式ユーチューブチャンネルにて配信している。



藤江 康儀
(改革みしま)



ヤングケアラーの支援について

◎ ヤングケアラーに対する学校関係者の指導啓発についてどのように行っていくか伺う。

▲ 今後、新たな調査報告や支援マニュアル等を活用し、定例の校長会議や教頭会議をはじめ、生徒指導担当者や養護教諭の研修会の折に指導啓発していく。その上で、すべての教職員が児童生徒を見る目を養い、目の前の変化に気付くことができるようにしていく。

新型コロナウイルス感染症に対する備えと支援

◎ 集中豪雨時等の避難所における新型コロナウイルス感染症の対策および備えについて伺う。

▲ 国、県から示されたガイドラインに基づき、感染者等と一般の避難者の動線などが重ならないよう避難所のレイアウトを見直した。また、避難所内における感染を防止するため、ワンタッチパーテーションやマスク、手指消毒液などをすべての指定避難所に備蓄した。





宮下 知朗
(新未来21)



オンライン手続きに関する説明動画配信を

◎ 進展が期待される行政手続きのオンライン化に伴い、誰もが気軽に利用できるよう手続きの仕方を説明する動画を作成してはどうか。

▲ 本市では、ユーチューブに市公式チャンネルを開設し、これまでも各種動画を配信している。動画であれば、画面を見ながら同じ操作を行うことで、手続きが可能となるため、今後も動画を活用した行政サービスの案内等、わかりやすい情報発信を図っていく。

さらなるごみ減量・資源化に向けて

◎ ごみ処理の現状をご理解いただき、減量・資源化の取り組みにご協力いただくため、清掃センターを見学する機会を創出できないか。

▲ 清掃センターの見学は、ごみについて考える有効な手段の一つであると考えている。事前にご連絡をいただければ施設の見学は可能なため、ぜひともご見学いただき、ごみについてのご理解を深めていただきたいと考える。



他の質問事項
デジタル活用支援を目的とした出前講座開催



古長谷 稔
(政和会)



アフターコロナ時代の箱根の里活用

◎ 青少年育成活動の拠点機能を堅持しながら、新たな利用需要を取り込むべく、試行と並行して、可能性調査を進める考えがあるか。

▲ 近隣の民間観光施設との情報交換や協働の可能性を模索しつつ、多くの要望をいただいている家族単位等での利用拡大などを試行的に取り組みとともに、三島市公共施設等総合管理計画に基づき、民間活力の活用検討について、並行して調査研究に努めていく。



富士山ハザード改訂に伴う避難計画の見直し

◎ 三島市も他人事ではない。市民に誤解が広がりぬよう正しく恐れることが大切だが、今後どのように避難計画を見直していく方針か。

▲ 今回の富士山ハザードマップ改定を受け、富士山火山防災対策協議会では、平成27年3月に策定した富士山火山広域避難計画を令和3年度中に見直す予定であることから、広域避難計画の検討内容を踏まえ、令和4年度中に市の避難計画策定に取り組んでいく。



鈴木 文子
(公明)



ヤングケアラーの支援について

◎ ヤングケアラーを早期に発見し必要な支援に繋げるために、学校や福祉など他機関連携で支援するマニュアルの活用について伺う。

▲ 様々な家庭状況に応じたヤングケアラーの支援の在り方についてのマニュアルが国から示された際には、福祉・介護・医療・教育等の様々な部署が連携し、潜在化しがちなヤングケアラーを早期に発見し支援ができるよう研修等に努めていく。

「生理の貧困」対策について

◎ 安心して衛生的に学校生活が送れるように、小・中学校の保健室や個室トイレに生理用品を常備し、無償配布を要望するがいかがか。

▲ これまで急な生理の際や生理用品を忘れた児童生徒に対して、保健室で生理用品の提供を行ってきた。今後、支援を必要としている児童生徒に向けて、まずは、中学校の女子トイレに生理用品を置き、状況を確認しながら、引き続き支援の検討を進めていく。



他の質問事項
困窮世帯等への貸付支援の延長の周知と支援



大房 正治
(緑水会)



放課後児童クラブの公設民営化の可能性

◎ 放課後児童クラブ全体に民間事業者による指定管理者制度導入を検討できないか。

▲ 児童クラブの必要性やサービス向上を求める声は年々高まっている。ニーズに沿った運営のため、すでに指定管理者制度を導入済みの坂放課後児童クラブも含め、市内の児童クラブ全体の民間事業者への委託化や指定管理者制度の導入に向け、検討を進めていく。

スポーツの推進について

◎ 三島市スポーツ推進計画の中間見直しに伴う東京2020オリンピック・パラリンピック後のスポーツ推進の取り組みについて伺う。

▲ 基本目標として、成人の週1回のスポーツ・運動の実施率を、令和2年度の59.9%から7年度までに65%に引き上げることを目標に設定した。オリパラ開催を契機に、スポーツ環境の整備とスポーツの持つ様々な可能性を活かして「健康都市みしま」の実現に努めていく。



表紙の写真について

東海道新幹線が開通した昭和39年当時、三島市には新幹線の駅はありませんでした。地元からの強い要望により、昭和44年4月25日に新幹線三島駅が誕生しました。表紙の写真は昭和39年～昭和44年の間に撮影されたと考えられ、新幹線が三島駅を通過する瞬間をとらえています。

また、表紙の柄は三島柄という三島茶碗や三島暦にルーツを持つ文様です。さまざまな柄がありますので、こちらにもご注目ください。

議会だより編集委員会一同



議会の活動

4月

- 1日 各派代表者会議 議会運営委員会
- 15日 ICT推進検討特別委員会 行政視察
- 23日 ICT推進検討特別委員会
- 27日 各派代表者会議 議会運営委員会

5月

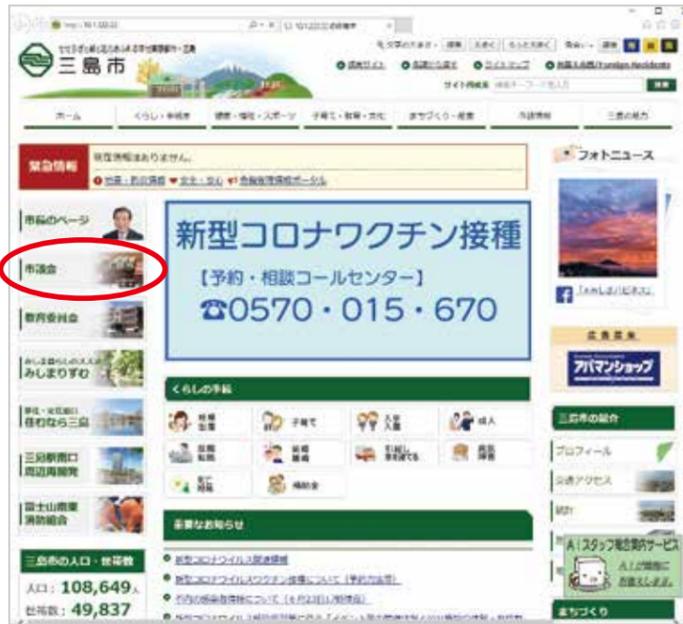
- 10日 各派代表者会議 議会運営委員会
- 17日 5月臨時会
- 19日 経済建設委員会 (所管事項説明)
- 20日 福祉教育委員会 (所管事項説明)
- 21日 総務委員会 (所管事項説明)
- 27日 ICT推進検討特別委員会

6月

- 1日 各派代表者会議 議会運営委員会
- 8日～23日 6月定例会
- 8日 各派代表者会議 本会議 (議案審議) 議会だより編集委員会
- 15日～18日・21日 本会議 (一般質問)
- 16日 各派代表者会議 議会運営委員会
- 18日 議会報告会運営会議
- 23日 本会議 (議案審議) 議会運営委員会
- 29日 議会だより編集委員会

本会議・インターネットライブ 中継に字幕を配信します。

スマホでも！
タブレットでも！



市議会ホームページで本会議の映像をインターネットライブ中継でご覧いただけます。

また、約1週間後から録画映像をご覧いただけます。

現在実施している本会議のインターネットライブ中継の映像に、令和3年6月定例会から、字幕付きが選択できるようになりました。生中継のみが字幕配信の対象となり、後日配信の録画映像には字幕が付きません。



なお、通信環境等により字幕配信が遅れたり、字幕が切れたりする場合があります。

また、音声認識技術により自動で字幕が作成されるため、誤認識、誤変換が起きる場合がありますので、ご了承ください。



こちらに
字幕がです！



先進地に学ぶ

三島市議会では、ICT推進検討特別委員会を設置し、議会においてタブレット端末を導入するための検討を行っています。先進的な取り組みを行っている御殿場市議会へ視察研修を行いました。詳細は市議会ホームページをご覧ください。



ICT推進検討特別委員会 4/15

議会におけるタブレット端末導入などのICTの取り組みについて -静岡県御殿場市-



御殿場市議会では平成29年12月からタブレットを活用した議会運営を行っており、運用上の取り決めとして「御殿場市議会情報通信機器使用基準」を策定し、会議での禁止事項、遵守事項等を定めているそうです。導入の際は、業者による研修会、議員同士で教えあう操作研修会を開催し、端末操作に苦手意識のある議員も使えるように配慮したとのことでした。

導入効果

①会議の効率化 ②資料の蓄積が容易になった ③情報共有が容易になった
また、副次的な効果として、予算書・決算書以外のほぼすべての資料は電子化できた。



タブレットの導入には委員会や本会議における事前準備で機能等の使い勝手に不安があったが、すべての議員がタブレットを十分に活用している実例を説明していただき、とても参考になりました。

身近な議会での同じ立場からの助言に、本課題が非常に現実味を帯びた印象。タブレットに不慣れな議員に合わせて進める「亀さん作戦」の話が大変印象的で、一歩ずつ底上げしていくことこそ結果的に最大の効果を生むことを肝に銘じて取り組みたい、と感じました。



11月上旬

議会報告会を開催します

○インターネットでの動画配信方式 ○会場での報告会方式



議会報告会は、市民の皆さんのご意見を直接お聞きする大切な機会です。
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、市内の各種団体との意見交換会という形で開催しましたが、令和3年度は、新しい試みとしてインターネットでの動画配信方式による報告会を開催する予定です。また、並行して市内の会場での報告会も開催予定です。

報告会では、平成31年に制定した三島市議会基本条例の検証についての報告と、常任委員会ごとのテーマについての報告を行い、それについて市民の皆さんからご意見、ご質問などをお受けする予定です。
開催日時などの詳細は、市議会だより11月1日号や、広報みしま、市議会ホームページなどでお知らせいたします。事前の申し込みは不要ですので、ぜひお気軽にご参加ください。



総務委員会テーマ：男女共同参画

福祉教育委員会テーマ：高齢者の日常生活における地域福祉の課題

経済建設委員会テーマ：下水道の料金改定と広域化

9月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
9/5	6	7 本会議 (議案審議)	8	9 常任委員会 (決算審査)	10	11
12	13	14 常任委員会 (決算審査)	15	16	17	18
19	20	21 本会議 (一般質問)	22	23	24 本会議 (一般質問)	25
26	27 本会議 (一般質問)	28	29	30 本会議 (議案審議)	10/1	2

本会議は午後1時、常任委員会は午前10時からの開会予定です。
日程は変更になる場合があります。

議会だより編集委員会

より幅広い世代の方に親しまれるよう努力してまいります。

メンバー構成が
変わりました!

委員長：宮下 知朗 副委員長：沈 久美
委員：甲斐 幸博 村田 耕一 石井 真人
河野 月江 佐藤 寛文